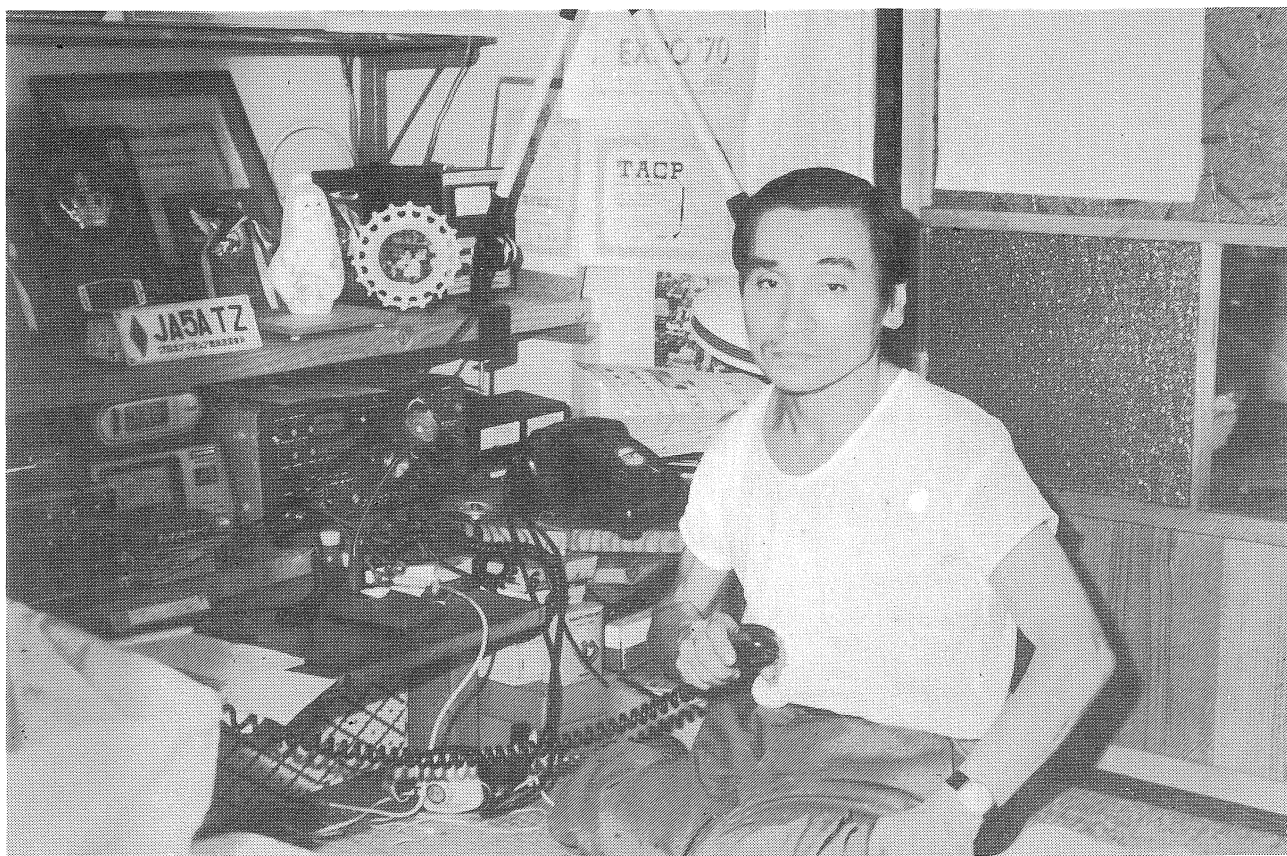


広報 ながはま 9月号



アマチュア無線で世界に
輪を広げる河野さん

障害者に暖かい手を

国際障害者年

さしのべよう

河野さんは、昭和三十八年にアマ無線を開局し、コールサインはJA5ATZで「長浜ロングビーチHAMクラブ」に属し、それ以来世界百六十か国の人びとと交信し、また、五年前には発起人となって愛媛県内の障害者だけのクラブ（愛媛身障HAMクラブ：JA5ZCN）を発足させ、「身障者の方は勇気をもって外へ声をかけ、友達をつくり、明るい社会を築いていこう」と世界の身障者同志の連帯を呼びかけています。

今年（昭和56年）は国際障害者年。これは障害をもつ人びとが、社会の一員として社会、経済あるいは生活文化等のあらゆる面に完全に参加できることと、すべての人びとと平等な生活を営むことができる社会環境の実現をめざして、世界各国が一致して取り組む年です。

紺屋町の河野憲太郎さんは、生まれながらにして下半身がマヒして、車イスの生活をおくっています。しかし、その障害にもめげず、印判店を経営しながら、アマチュア無線で多くの友達を得て活躍されています。

国際障害者年にちなんで

年にちなんで



シンボルマーク

テーマに全国各地でいろいろな事業が実施されています。

このシンボルマークは、二人の人間が連帯して手を取り合い、平等の立場から支えあっている姿を表現しており、平等、希望、支援を表わしています。周囲の葉は、国連の紋章の一部です。

私たちの町でも目、耳、手足などの不自由な方がたくさんおられますが、その不自由にもめげず職場で、家庭で活躍されています。

今年は、国連が定めた「国際障害者年」で、「完全参加と平等」を

最善を尽くして生きよう

武智秀夫 (40歳)
長浜・教員

長浜町内に勤務されていた先生の、帰宅途中単車から落ち、今はベッドに寝たきりになっておられたり、うでのよい大工さんが高い所から落ち、手も足も変形して働くこともできず、毎日の生活にも不自由をされている方があります。一命はとりとめたものの、一瞬の間に有能な人材が身体障害者になっておられるのです。健康

前向きに明るく生きる楽しさを

谷次子 (55歳)
白滝・理髪業

私は障害者になってから今年で四十年になります。振り返ってみますと、とても長い年月です。でも過ぎてみればアツという間のようです。今思えば、自分は長生きができたなあとと思っています。私が病む時の母の力は、何ものにもたえようのないものでした。今は亡き母ですが、母の強い心力が

な我々も、交通事故や労務災害、病気等の為に、いつ障害者になるかわかりません。命あるものは命ある限り、最善を尽くして生きていかなければなりません。身体障害者は健康な人に比べ、ハンディを背おって生きていかねばならないのです。ハンディに耐え、克服してこの社会に生活しなければなりません。仙台の殿様・伊達正公は独眼で活躍しました。秀吉の軍師・黒田如水は片足になりました。後、福岡藩五十五万石の城主になりました。本町でも、このようなハンディを克服して活躍され、長浜町になくはならない人物がたくさんおられます。国際障害者年にあたり、身体障害者のみなさんの健康とご活躍をお祈りしております。

あつての私だと思います。次に大切なことは、自分の心掛けです。病みながらもいつでも前向きに明るく、人のじゃまをしない、ささやかながら自分なりに生きる楽しさを見つけないことだと思います。どんなにみにくい体でも、やれば何でもできるのです。世の中への甘えはいけないことだと思います。私はおかげ様で、まわりの皆様がとてもよい人ばかりです。ふと自分分は障害者であることすら忘れていた時があります。人生とはそれでよいのかも知れません。今後とも私なりに人に迷惑をかけないよう生きていきたいと思っています。一人で生きていることは淋しく、病氣した時は心細くなる時もあります。昔のことを思えば今は幸せです。

希望をもって社会への参加を

松岡兼次 (68歳)
上老松・商業

敗戦の年一月三日、「高雄港」にて米艦載機の機銃掃射にあい、六時間余りにおよぶ意識不明の後、左上腕部切断、文字通り九死に一生を得た当時のことが今も私の脳裏にあり、寸時も忘れられない。一瞬にしてタンカーもろとも十数人の友の死、以来三十六年、今もなお断続的に痛む左上腕部の鈍痛、この苦しみを他人に訴える術も知

闘いながら妻と力を合わせて

久保孜 (49歳)
長浜・時計店

戦争の恐怖から解放されたものの、物資不足とインフレにあえいでいた昭和二十二年、十五歳の私は、戦死した父と同じ歯科医になることを目標にして励んでいました。それは父の希望であり、母の願いでした。それを一夜にしてすべて駄目にしたのは、骨髄炎のため生死をさまよい、命を取り留めるため片足を

らない。甘えてはならないこの苦しみと悩みの日々を、我慢の終わりを告げるのはいつの日か、私には終戦はない。生命ある限り戦い、苦しみ続けねばならない私の人生である。今年が国際障害者年である。世界中の数多くの人々が、障害の差こそあれ、苦しみと不自由に耐え忍びながらも、希望をもって社会への完全参加を願い、それぞれの分野で努力している姿は、同じ障害者として身にしみるものである。しかし一般社会人として共に歩み、共に語り、交流してゆく重度身障者の進む道は、表現できたいほど決して生やさしいものでないことを、世人に強く訴えることをお許しいただきたい。この意義ある年を機会に、多くの人々が楽しく明るい社会へ参加することをせつに望みます。

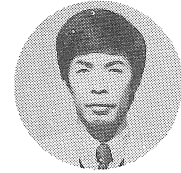
失ったことです。以来二十幾年間、多くの人達にささえられ、今日命あることを感謝し、ささやかな家庭を営んでおりますが、当時は多感な少年時代であり、将来への希望を失い、生きていることがこの上もなく辛い思いでした。でも少しずつ落ちつくにつれ、なにかをして生計を立ててねばと思うことでした。ハンディを持つていて出来る仕事一考えた末、時計の修理を習いました。なんと今日まで来られたのは、いつまでも余り丈夫でない母に頼っていては互いに不幸だと気付いたこと、多くの友人の支えが、つい内向的になりそうな気分を引き立てくれたことでしょう。まだまだ私の生きる闘いは続きますが、妻と力を合わせ頑張っていると考えています。

国際障害者年にちなんで

国際障害者

完全参加と平等

十年後には世界の体制を



宮上 孝一
(29歳)
柴・会社員

昨年の「国際児童年」に引き続き、今年からの「国際障害者年」と弱者救済の運動が世界的規模で行なわれています。私自身、障害者の一人として、今年からの障害者年に関しては特に関心も深く、今後十年間にどんな活動が行なわれるのか、興味と期待でいっぱいです。しかし、普段あまり取り上げられていなかった障害者の問題を、年が

障害者と意識せずにはチャレンジを



菊地 直美
(30歳)
穂積・公務員

私は今、電話交換手として働いています。社会に出てまだ七年目、ずいぶんゆつくりスタートしたものだと思っています。
自立したい気持ちを持っていないが、何から始めれば良いのかわからず、時間だけが過ぎて行きました。あの頃の私は、まだ自分が障害者であることに負け、甘えていた気がし

ます。今もそんなに強くなったとは言えませんが、自分の力で生きてみたいと思うようになったのです。人間は皆、生まれた時からその人に背負えるだけ荷を持って、生まれて来ると聞いたことがあります。そうだとするならば、私にも背負えるはずだと思っています。それにこの荷物は、心しだい軽くするように感じます。なるべく障害者だと意識せずに、何にでもチャレンジしています。失敗することの方が多いのですが、やらないうちは良いと思います。働きたいと思えば、できずにいる友だちも応援してくれています。大勢の人に支えられて今日まで生きて来た私にできることは、一生けんめいがんばることですが、皆様よろしくご指導下さるようおねがい致します。

身体障害者のための制度

心身障害者扶養共済制度

心身障害者を養育している保護者が亡くなったり、病気などになった場合、残された障害者に生活の保障を目的として、終身一定の年金が受けられる制度です。
(加入できる人)

次に該当する人を現に養育している六十五歳未満の健康な人で、二口まで加入できます。

①精神薄弱者②一級から三級までの身体障害者③①又は②と同じ程度の障害と認められる人
(年金の額)

年金は、加入者が亡くなったり、病気などになった月から毎月支給

されます。年金の額は、一口につき月額二万円です。
(掛金)
掛金は次表のようになっていきます。

1口目の掛金

加入したときの年齢区分	掛金月額
45歳未満	掛金納付時の年齢が 35歳未満の人 1,000円
	35歳以上 45歳未満の人 1,300円
	45歳以上の人 1,500円
	45歳以上の人 1,500円
45歳以上50歳未満	3,200円
50歳以上55歳未満	4,100円
55歳以上60歳未満	5,300円
60歳以上65歳未満	6,800円

心身障害者見舞金制度

長浜町では、心身障害者の日常生活の安定と福祉の増進を図る目的で、等級により次の見舞金(年額)を支給しています。

- 身障者手帳一級二級…五千円
- 身障者手帳三級四級…四千円
- 身障者手帳五級六級…三千円
- 療育手帳 A ……五千円
- 療育手帳 B ……四千円

身体障害者へのエチケット

身体障害者の数は、愛媛県で四万九千人、長浜町では五百十一人です。身体障害者の大半は活動的な社会人として、職場で、家庭で立派に活躍されています。しかし、その一方で、一般人の無理解な言動から精神的重圧に悩む身体障

進めよう適材適所に身障者

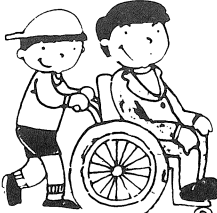
心身障害者雇用促進月間

9月1日～9月30日

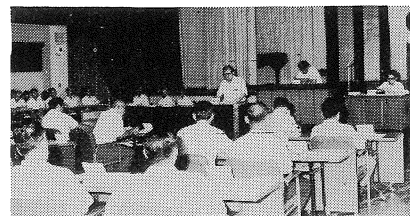
公共職業安定所では、心身障害者の社会における十分な活動の場を確保するため、その雇用促進を重点事業の一つに掲げて努力しています。特に、九月は心身障害者の雇用促進月間と定めて、就職相談や雇用援助相談をはじめとした諸施策を一層強力に進めることにしています。

今年には「国際障害者年」であり、障害者の雇用促進をテーマとする運動が世界的に展開されているなかで、障害者の雇用問題に対する社会の関心は徐々に高まってきておりますが、事業主の皆さん方の

なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。身体障害者へのエチケットを申し上げます。



町 議 会



町議会第2 回 定 例 会

長浜町議会第二回定例会が、七月二十七日から二十八日までの二日間の会期で開かれました。
今回上程され審議されたのは、一般会計補正予算、長浜町過疎地域振興計画の変更など町提出の議案十一件と、陳情文書など議会からの報告案件八件、農業委員の推せんについての提案など議案はいずれも原案通り可決、報告案件はいずれも受理採択されました。
また、議案審議の前に一般質問が行なわれました。可決されたこと、受理採択されたこと、一般質問のおもなものは次の通り。

須沢集会所の工事費など

一般 会 計

今年度一般会計に今回一億四千六百八十七万九千九百九十九円が補正され、当予算会計の総額は三十三億五千九百九十九万九千九百九十九円となりました。
今回補正された予算のおもな使

いみちは次の通り。
総務費 有線放送用の電柱代など三十七万円。豊茂保育所・診療所倉庫移転などの財産管理費百三十九万八千円。須沢集会所の工事請負費。
民生費 町身体障害者福祉会、心配ごと相談所への補助あわせて五十一万円。老人ホーム白山園の静養室増改築、廊下サッシ取付費。衛生費 火葬場煙道ダクト補修工事に五十万円。
農林水産業費 中晩柑類追熟装置設置事業費補助等に四百三十八万円。須沢農道ほかの工事請負費。松くい虫被害跡地造林対策事業補

助に二百二十二万四千円。作業林道開設の出石寺線の工事請負費。櫛生高峰地区の荷さばき施設の工事請負費。並型魚礁設置、築いそ設置事業。
土工費 街路灯新設追加分。
土木費 長浜・藤縄線の県道昇格に要する経費と沖浦海岸漂砂状況調査の委託料あわせて九百万円。車輛交通の安全確保を図るために長浜・戒川線路面補修費。柿ノ久保線と大平線の町道新設改良費。沖浦・大洲線の県営工事費負担金に二百四十万円。
消防費 幹部団員の消防知識の向上と活動に必要な技術修得のための研修旅費。
教育費 代替用務員賃金と教材費に八十三万四千円。今坊集会所建築追加分。

猪ノ尾・刈屋線

など追加

過疎振興五か年計画

交通通信体系の整備事業として

猪ノ尾・刈屋線改良事業ほか十五件、教育文化施設の整備で出海小中学校運動場照明施設ほか六件、生活環境施設および福祉施設等厚生施設の整備では、陽だまりの部屋備品整備ほか十四件、産業振興では、中晩柑類追熟装置カラーリング施設の設置ほか十一件が追加されました。

九路線を町道に認定

地方改善事業で新設および改良を行なった大屋一線ほか八線の町道と、出石・郷の峠線の路線の延長による変更が認定されました。
【新設認定路線】大屋一線▽大屋二線▽大谷口一線▽橋立浜線▽出石浜線▽道上二線▽道上二線▽新造替地線▽晴海五号線【路線の変更】出石・郷の峠線

請負契約を承認

昭和五十六年度喜多漁港改修工事（分割2）を有限会社・長浜建設と請負契約を結ぶことが承認されました。

陳情二件を受理採択

この議会に上程され審議された「第二次開発事業の推進について」の陳情文書三件はいずれも受理採択され、町理事者に送付して、その主旨に沿うよう善処を求めることになりました。

陳情者名は次の通り。

▽長浜町建築業組合組合長・徳山亀千男。
▽晴海団地企業自治会長・大橋

昭ほか三十一人。

▽長浜町区長会長・明関定市ほか本部役員二十八人。

一 般 質 問

今回の議会では、中川喜代志議員が六件、小川儀三郎議員が七件の質問を行ないました。

基礎調査の結果

を待って

〔総合エネ基地構想〕

中川議員：長浜町は現在基本構想の中で、石炭火力発電所、LPG、石油製品等備蓄供給関係企業を主体として打ち出しているが、環境汚染の公害に対し、全国的に真剣に取り組む姿勢が見受けられる。このような時、石炭火力発電所、LPGなるものを誘致する考えがあるのか。また、長浜地区産業公害事前調査の資料を今後参考にしてゆくのか。

二宮町長：総合エネルギー基地を進めていくということは、長浜町振興計画基本構想で明らかであり、議決済みである。その後に

においても再三話し合いは行なってきたところであるが、実施の段階では、基礎調査、環境アセスを行なつてから検討し、議会、町民の意見等を聞いて方向を決めることになると思う。前回の調査資料については、今後本格的な基礎調査及び環境アセスを実施していく中で、使えるものは資料として使っていくつもりである。

数値を確認し対応を

トリハロメタンの分析

中川議員：地方水道行政のガンともいべきトリハロメタンが全国的に現在深刻な問題となりつつあるが、長浜町も住民の健康を真剣に考えるならば、このトリハロメタン分析の水質検査を早急に実施すべきだと思うが、どのように考えているか。また、水道水の低減対策として、塩素注入、薬品沈澱処理の管理、運営は適正に行なわれているか。

二宮町長：トリハロメタンは、お説の通り四種類含まれておりますが、これが高い水道においては、塩素注入、薬品沈澱等の管理を適正に行なうよう指導をうけ、国の基準は〇・一PPM以内であり、長浜町として現在心配ない状態である。現在、衛生研究所に水質を依頼しており、愛大の立川教授にも指導いただき、検査の依頼をしてある。今年は、年二回くらい検査を行なつて数値を確認し、対応したい。

文書でなく話合で

公開質問状

中川議員：長浜町水道水の安全性に関する事項、総合エネルギー基地建設構想に関する事項について二回にわたって、公開質問状がだされているが、その回答がない。どのように考えているのか。また、文書で回答を出す意志があるのか。

町 議 会

二宮町長：町と町民の間で、このようなことを文書でやりとりすることは好ましくなく、話し合いが望ましいと思う。文書で回答する考えはない。

漁港は計画どおり完成を

（沖浦海水浴場）

中川議員：避難港として役にたかない沖浦漁港を、今後どのように手直ししてゆくのか。また、住民の憩いの場としても、観光の面からも重大である海水浴場について、県においては離岸堤などを計画しているが、漁業組合では反対の声もでており、どのように考えているのか。沖浦海岸の荒廃は人災か、天災か。

二宮町長：漁港については今後計画どおり完成させなければならぬと考えている。海岸の決壊は天災である。今後は県と相談しながら調査をして、それに基づき、海岸保全計画を立案して、今後の方向づけをしていきたい。

今後も強く要請を

（肱川汚染防止対策）

中川議員：現在の肱川は、富栄養化が進み、透明度の低下、化学的酸素要求量の上昇等の現象が生じており、汚濁が進行している。清流園のし尿処理の施設を三次処理施設に早急に切りかえていたいただきたい。大洲市をはじめ各町村に對し、下水処理のための終末処理

場及び集落単位のコミュニティのプラントの早期実現に取り組んでほしい。

二宮町長：し尿処理場の三次処理については、昭和五十七年三月をめどに完成を図ることになっている。下水処理については、町村会のあるごとに大洲市長にお願いしてあり、昭和五十八年をめやすに計画立案をしてゆくとのことであるので、今後強く要請していきたい。学者をまじえた現地視察については状況をみて相談させてほしい。

執行されることが適切

（寄付金）

中川議員：長小の建築に伴い、推進委員会を作って寄付を集め、芳名碑を作り十万元以上寄付した人は名前を入れることになっていったが、県教委の指導で中止することになった。長浜町教育委員会は八幡浜教育事務所へ念書を出しており、この時、推進委員会には相談もなく、独断の姿勢に重大な問題があると思うが、どのように考えているか。

二宮町長：そのように決定されていることであり、今更意見を申し上げるまでもない。そのように執行されることが適切であると思う。

適切な処理で

（土地開発公社に關して）

小川議員：土地開発公社が伊予

木材の土地を取得する問題で、理事会よりも先に承認書がでていることは誤っていないか。また、新居浜市の開発公社では、取り扱いは要綱を作ったようなことができないようにしているが、研究して取り入れる考えはないか。

内容は徐々に検討を

（LPG基地の研究）

小川議員：明浜町では、三井物産のLPGガスの受け入れ基地を作ることを議会で議決した後、住民の反対によってとりやめたが、当町もLPG基地を誘致するというアドバルーンがあがっている以上、そのことについて調査しているか。また、LPGやLNGについて勉強しているか。

二宮町長：議会で正式に承認をされていないので、そのことがなされたのちに調査していくことが妥当であると思う。方向づけはできているので、内容については徐々に検討していきたい。

県の格付けを準

用して

（建設工事指名入札）

小川議員：最近の建設工事入札において、倒産するような業者が

入っているのに、長浜では大きいと思われる一宮工務店がはずされているのはなぜか。

二宮町長：町が行なう建設工事のうち、土木工事の指名入札にかかる業者の選定は、建設工事請負業者選定要領に基づき指名しており、県の格付けを準用して公正を期している。その他の工事については、その都度信用施行能力等を検討し対処している。

調査、検討を

（勤労者の融資制度）

小川議員：勤労者と商工、農業者の税金はきわめて不公平であり、商工業者については信用保証協会へ預託して融資が受けられる制度があるが、勤労者に対してもこのような制度を作る考えはないか。

内容を聞いてから

（青島の観光開発）

小川議員：広報ながはまに青島の観光開発診断結果がでている。その中で温泉開発については困難であるということだが、くるしまドック社長の坪内寿夫氏に協力を求めてやれば可能であると思うがどのように考えているか。

二宮町長：観光診断が即町の方針ではなく、その中で取捨選択して取り組んでいきたい。坪内氏のことについては詳細について聞いていないのだからともいえない。

いろいろな要望とあわせて

（戦没者の記録史編さん）

小川議員：長浜町では英霊のために慰霊祭を実施しているが、この戦没者の記録を本にまとめて、後世に伝えていくことが我々の義務であると思う。町史を編さんしたように、町が力を入れていく考えはあるか。

二宮町長：遺族会の会合でいろいろ要望もでており、このことも必要だと思う。特に慰霊塔の建設について強い要望がでており、いろいろなことをあわせて、戦没者に対して敬意を表することは大切なことだと考えている。

少数精鋭主義で

（行政改革の対応策）

小川議員：国の行政改革に對して、長浜町も節約できるところは節約していかなければならないと思うが、これについて対応する方法を考えているか。

二宮町長：町長就任以来、欠員不補充、少数精鋭主義をつらぬいており、可能な限り支出削減、合理化を進めていきたい。また、これらの時代に対応できる公務員を育成するというところで、職員の心構えとして「勇気」「忍耐」「努力」「英知」「奉仕」を実践訓として指示している。また、将来の長浜町について、どうすれば明るく豊かで住みよい町づくりができるか、みんなで真剣に考えていただきたい。

コミュニティ広場・私の赤ちゃん

地域におけるいろいろな住民団体の活動

コミュニティづくりをすすめるためには、その地域で活動している住民団体の存在を無視するわけにはいきません。むしろこれらの団体の長所を積極的に生かしながら、コミュニティづくりの中心的な担い手として位置づけることがのぞましいでしょう。

これらの住民団体は、それぞれの目的に賛同する人びとによって構成され、着実な活動を行なっています。

地域社会では、これらの諸団体が、今後もより活発な活動を積極的に進めながら、団体相互が信頼関係を維持しつつ連絡を密にし、協力できることがらには力を貸し合い、それぞれの活動を益々盛んにする必要があります。

また、地域社会にグループやサークルなど、一般住民が誰でも随意に参加しうる新しい組織づくりの芽生えがあれば、次々と育てることも大切でしょう。

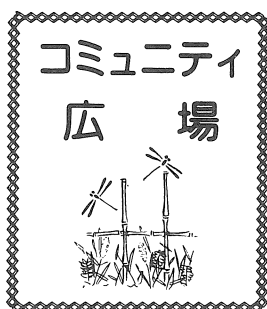
一つ一つの団体をとれば、ささやかなものであっても、これらの団体はコミュニティ施設を足場に、着実に活動の輪を広げてきています。

これらの住民団体は、当面、その関心はもっぱら地域社会を場とするスポーツや趣味等に活発に向けられるとしても、やがては、地域社会での活動への参加を通して、コミュニティ組織のあり方、市町村行政とかかわりなどコミュニティづくりにも目を向け、新しい

アイデアや自発的な活動により、新しい地域社会をつくりあげていくエネルギーとなるでしょう。

地域社会に根をおろした住民団体は、それぞれの地方によって異なりますが、一般的に見受けられる住民団体を紹介しましょう。

- 町内会、自治会等の活動
- PTAの活動
- 婦人団体の活動
- 青年団体の活動
- 少年団体の活動
- 老人クラブの活動
- 文化団体の活動
- スポーツ団体の活動
- その他の団体の活動



地区をあげて太陽の広場運動を



コミュニティリーダー
本田 信子
本 出 海 (73歳)

私が結婚してこの出海地区に住むようになった昭和初期には、お講と名のつく集まりが幾つかあった。お伊勢講、お日待ち講、お大師講、念仏講などである。お伊勢講とは、講連中が出し合った今で

いう会費で、連中が交替で参宮するのである。当時は、旅行など特別な人のすることだと思われていたのだ、この構で地区民が平等に参宮するチャンスを作りだした訳である。大師講は、年寄り連中が毎月集まり、ご詠歌唱和年一回、村四国八十八か所巡りをする人に赤飯の接待をしていた。念仏講は死人の出た家の人手が少ない場合、連中が手伝い、墓地納骨の時、念仏を唱和するのが決まりであった。これこそ必要に迫られ、地区民の作り出した知恵で、今のコミュニティ活動なのである。家族だけで解決できないものを、地区民みんなで処理したのである。しかし、時代の移り変わりで講は遠くに消え、公民館活動に姿を変えた社会教育活動も、地域活動もその中行なわれるようになった。地域婦人会、農協婦人部、青年団、老友会を包含した訳である。そこで県の委嘱を受けたわれわれコミュニティリーダーは、これら団体が連帯性の基盤を作るコミュニティ解放的集団同志意識によって結びつく共通の問題は何かを探し出さねばならないのである。

管理社会は何をやっているかをつかみにくい、参加社会ではつかむことができ、自分の仕事は何らかの役に立っていると思うから意欲的である。現在、地区の必要性から活動している地域婦人会、農協婦人部、果樹同志会、保育所母親クラブ、明友会、特に太陽の広場運動は地域をあげて参加した事の意味をつかみ得られたものと喜んでゐる訳である。

私の赤ちゃん

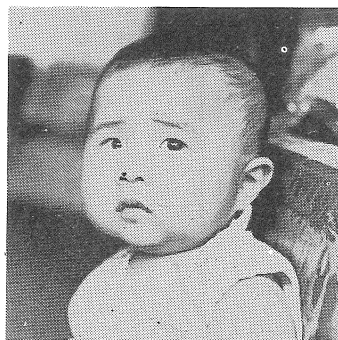
⑭



★赤ちゃんが生まれた時のご主人の第一声は「よく頑張ったな」

★名前はどのようなかわれでつけましたか：上が女の子で、二番目が男の子だったので、菊地家を継いで欲しいので「治二」と命名しました。

★出産のときのエピソードは：あまりにも大きすぎてビックリしました。



菊地 治二 くん
(昭和56年 3月 2日生まれ)

★どんな子供に育てたいですか：雑草のようにたくましく育ってほしいと思います。

★あなた流の育児に仕方について：自然の中でのびのびと育つように、長い目で見守ってやりたいと思います。

★母乳、それとも人口授乳ですか：人口授乳です。

★初めてママになった実感があったのはいつ頃からですか：二人目なので、ママになった実感といってもピンときませんが、二人の子供の世話をしながら、私も二児の母親になったのかもしれないと毎日育児に追われっぱなしです。

★子供が生まれてご主人が変わった点は：二人目で子供の面倒をよく見てくれます。男の子なので、一緒にマラソンが出きる日を楽しみにしているみたいです。

★つぎの赤ちゃんの計画は：考えていません。

★ご主人のパパになった弁：身が引き締り、頑張らなくてはと思います。

★ご主人の子どものうぶりを紹介してください：仕事から帰ると、サー君と言って抱きあげます。

パパ：菊地茂利さん 三十二歳
ママ：菊地光子さん 二十五歳
(上老松)

し尿浄化槽の 法定検査を受けましょう

「浄化槽を設置するとき」…し尿浄化槽を設置しようとする場合は、工事に着手する前に確認を受ける必要があります。

近年、し尿浄化槽の設置基数が大幅に増加しており、その維持管理が必ずしも十分でないため、し尿浄化槽の放流水などにより、公共の水域の汚染を引き起こす例がしばしばみられます。

このため、厚生省令の改正により、昭和五十五年一月から年一回、し尿浄化槽の定期的な検査（法定検査）を受けることが義務付けられています。

「浄化槽を設置するとき」…し尿浄化槽を設置しようとする場合は、工事に着手する前に確認を受ける必要があります。

し込み用紙または電話による検査予約も受け付けています。

し尿浄化槽検査手数料 (1基当り)		
5人～10人まで	2,500円	
11人～20人まで	3,500円	
21人～50人まで	4,500円	
51人～100人まで	5,500円	
101人～300人まで	6,500円	
301人～500人まで	7,500円	

ンし、成人病を予防するための生活習慣を体得していただくために愛媛県健康増進センターを開設しています。

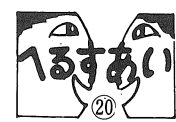
使用料金および時間			
種別	料金	曜日	時間
○総合健康度測定診断指導	8,000円	㊥～㊦	9:00～17:00
○健康度測定診断指導 (上記から運動負荷検査を除く)	6,000円		
○事後検査指導(2回目以降)	1,500円		
○食生活指導	200円	㊦	10:00～15:00
○トレーニング施設	150円	9～6月	㊥～㊦ 9:00～20:00 ㊦ 13:00～16:00
		7・8月	㊥～㊦ 9:00～21:00 ㊦ 13:00～16:00

また、あなたの健康度に合わせた健康な生活のための指導を医師、保健婦、運動指導員、栄養士がいたします。

暑い夏を過ぎて初秋を迎えました。体調はいかがでしょう？ 九月は健康増進普及運動が行なわれる月であり、ガン征圧月間でもあります。柿が赤くなると医者が青くなる」と言われるほど健康な秋であるように、お互いに気をつけましょう。

正しい食習慣をつくらう

食塩のとり過ぎに注意



日本人は、一人が一日平均十五～二十gの食塩をとっています。しかし体の健康を守るため

しかし一度身についてしまえば、覚えてしまった味覚を変えることは容易ではありません。いきなり塩味を今までの半分にしようとしても、すぐに元にもどってしまうかもしれません。そこで、次のような工夫をしながら、塩味のうすさを少しでもカバーし、慣れるよ

- ④油を用いること。(いため物か揚げ物で香ばしく)
- ⑤こげ目をつけて焼き、香ばしくすること。
- なお、塩味を減らすことは、砂糖味をうすくし、減らすことにもつながります。(保健婦・一宮)

へるすあい(ヘルスアイ)とは「健康の目」

国民健康保険税の改正 ムダのないよう 正しく使いましょう

長浜町の国民健康保険で支払う医療費は、医療技術の向上、高額医療患者の増加、医療費の引き上げなどが原因で大幅に増え、国民健康保険の財政は非常に苦しくなっています。

医療費が増えれば、保険税の値上げをして補わなければなりません。今年度は次のように改正しなければならなくなりました。

●高齢医療費の貸付けを行なっています。お医者さんにかかった場合、医療費の個人負担一人一か月一つの病院で三万九千円を超える額の九割を無利子で貸しています。詳しいことは、衛生課国保係へお問い合わせください。

●所得割 百分の六・百分の七(均等割) 一万円→一万五千円(平等割) 一万六千円→一万八千円

●国保税が高くなっているのは、みんなが使う医療が高くなっているからです。一服、一錠の薬も大切にノミナが支払った国保税です。

●医療費の節約をみんな考えてみましょう。深夜、休日、時間外の受診をなるべくやめましょう。薬を信じるよりも、医者の養生指示を守ることが病気を早く治す方法です。

●老人医療費は無料ではありません。

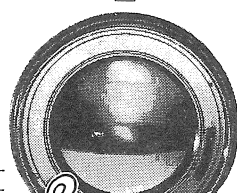
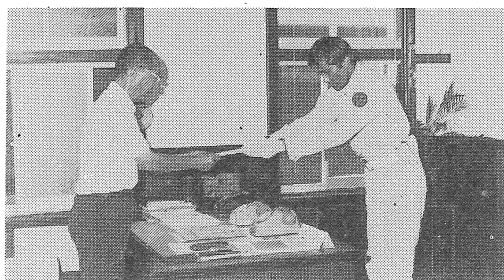
十周年記念大会 （長浜乳児保育所）



八月七日、長浜乳児保育所で設立開所十周年を記念して、母の会の会員や職員およそ五十人が参加して式典が行なわれた。庭には記念碑が建てられ、来賓の西田前代議士や二宮町長のくわ入れで、きんもくせいの記念植樹も行なわれた。

県知事からのメッセージ ～交通安全の日100回記念～

交通安全意識の高揚と交通事故の防止を目的に、昭和四十八年四月二十日にスタートした「交通安全の日」百回を記念して、県知事からのメッセージが県警の白バイによつて町長に届けられた。また、安協による記念パレードや婦人交通指導員の実技指導が行なわれた。



カラー舗装完成を祝って
～本町商店街～

新装なったカラー舗装を祝って八月七日、本町商店街で西田前代議士や二宮町長が鏡ダルを抜き、もちまきをして完成を祝った。また、夜は農協、銀行、昭和役場など、およそ二百五十人が参加して本町商店街で長浜音頭を踊り、練り歩いた。



双子ナスが誕生 （下須戒の二宮さん）

下須戒の二宮繁さんが種を播いて育てたナスのうちの一つに、双子のナスが誕生して話題になっている。長さはおよそ十五センチ、株は他のものよりも成長がよく、突然変異でできたものと思われ、二宮さんはトマト、キュウリなども育てて研究したいといっている。



町の歴史 ②

喜多郡・大洲市で一番高い山である壺神山の昔はどうかあったろうか。

その名前が示すように、壺の神様の山であり、祭神は少彦名命である。海拔九七〇・五の壺神山を中心にして、壺を祭っている祠が四か所ある。①壺神山上の大洲市田処分と②長浜町戒川の大平分③双海町下灘の壺神分と④今一つは下須戒柿の久保分である。

弥生時代（紀元前三〇〇年～三〇〇年頃）から古墳時代（三〇〇年～六〇〇年頃）初め頃にかけてと想像されるが、出雲の国の経営を終った大國主命と少彦名命が道後に来た温泉に浴された。

少彦名命は、道後から大洲においてになり、ここで亡くなり、梁瀬山の中腹に葬られている。少彦名神社で昔から命の神様の地であるといひ伝えられている。

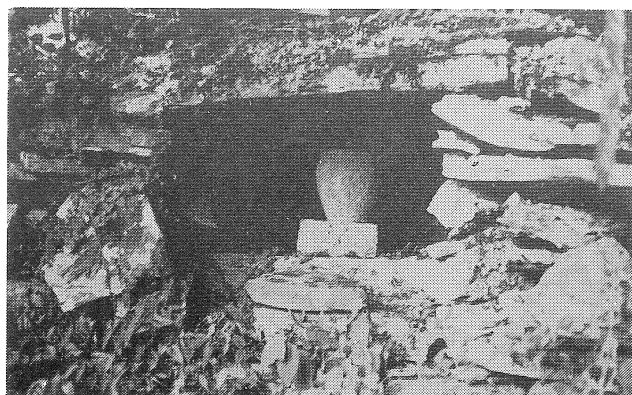
少彦名命の、道後から大洲への道筋を考えると、海岸をつたって双海町に行き、下灘から壺神を経て壺神山に登った。そして戒川を通り、八多喜へ下り大洲へ出られたと思われるのである。その道中、住民の病気を薬で治された。その時、

壺神山中で薬壺を忘れられたといひ伝えられている。

双海町上灘の天一稲荷神社、今坊の客神社、黒田の天神社の祭神が、いずれも少彦名命であり、前にのべた四か所の壺神の祠とを合わせ考えると、その道筋が想像できるだろう。

この時代の特徴として巨石文化がある。戒川石堂部落には周囲一四畝位、高さ二畝位の石が南向いて立っている。部落の人が祠を立てて神様として拝んで来た。メンヒルとして新聞にも紹介された。今、壺神山へ登ると、二〇〇〇

年程前の長浜の歴史・風土・文化が眼前に展開し、古代の人々と心のつながるのを覚えるのである。（町文化財保護審議会委員・久保七郎）



大平にある壺

この人

梶本ヒデノ
青島・54歳

青島の人家や山林を、婦人の手で火災から守ろうという強い決意から、青島分団に昭和四十六年二月一日、婦人部が設立されました。その初代部長が、梶本ヒデノさんです。婦人部は十二人で構成され、各個訓練、部隊訓練、ポンプ操法と、消防団としての基礎は終了しています。島にいる男の人は漁で生活しており、留守がちです。それに輪をかけて高齢化する島民と過疎化に悩んでいます。婦人部の力は大きなものがあります。

島の火災を
婦人の手で



私たちが島で農業する者にとつて、農道がほしいですね。

七人で、三班に分けています。いくら忙しくとも、漁の関係で時間はずれても、欠席する者はいません。極めて志気旺盛です。和気あいあいと消防団活動を通じて、心と心を結んでいます。

島のみなさんも、火の元には特に気をつけてくれます。「私たちは、海難事故があつても出動します。島の回りを見回るのは役目です。昨年の出初式までは、ポンプ操作をしていました

が、もう年ですネ。今年の出初式からは、各個訓練と部隊訓練にしたらどうかと指導されました。一生懸命訓練をしたのですが、海がしくて参加することができず残念でした。」「私は島で生まれ、島で育ち、結婚しました。子供は四男一女います。高等学校を卒業して、島の外で皆生活しています。盆と正月には子供全員帰って来ます。やはり、島でも故郷があるということはいいいものですネ。今私は、主人と二人で生活しています。主人は漁をして、私は農業をして、麦、いも、野菜を作っています。私の趣味は、畑を耕すことです。作物が成長するのが楽しみです。私たちが島で農業する者にとつて、農道がほしいですネ



農道ができれば、一輪車で畑へ行くことができ、楽ができるし、これが私の念願です。私は青島が好きです。消防団活動を通じて、皆さんと親睦が図れます。婦人部の団員で転出する人を除いて、結成以来退団者はいません。私たち二十二人一致団結、男子部員とともに島を守って行きます。みなさん青島へもお越し下さい。自然に残っているきれいな島です。」

新・農業委員
決まる

任期満了にともなう長浜町農業委員会委員選挙は、七月十日に告示され、同月十一日に立候補受け付けがしめ切られた結果、立候補者は定員ちやうどの十人で無投票当選。また、議会推せん(五人)、農業団体推せん(二人)の委員も次の通り決まりました。

なお、新しく決まった農業委員の初めての会が八月四日開かれ、会長に石田政雄氏、会長代理に久井貞治郎氏が決まりました。

新委員の任期は五十六年七月二十日から三年間。

内訳は現職十四人、新人三人。

裁定請求を

国民年金を受ける方へ

国民年金は受けとる資格があつても、ご本人から請求がないと支給されません。

年金を受けられると思う人は、必ず住所地の市町村役場に「裁定請求書」を提出してください。

この請求書には、老齢年金の場合
合は年金手帳を、障害年金の場合

訂正

訂正 八月号四ページの
教育長に関する記事
の中で、教育長の選任は五月
十七日とあるのは六月十七日
の誤りです。訂正してお詫び
申し上げます。

新しく選ばれた農業委員

【第一選挙区】旧長浜町、喜多灘村、櫛生村、出海村の区域

谷尾辰雄（52歳・今坊・新）増田
興一郎（53歳・櫛生・現）松岡寛一

45歲・櫛生・現）石山豐（42歲・出
海・現）鎌田賢一（51歲・沖浦・現）

【第二選挙区】（旧大和村、白滝村の区域）

豐茂（見） 成本音公（11歲） 茂

【喜多農美共著目録卷上】
 藤田栄一（67歳・下須戒・現）
 坂本音枝（5歳・飛

【喜多農業共済組合推せん】
二宮重憲（59歳・穂積・現）

【長浜町青果農協推せん】
畑山鶴夫（64歳・出海・現）

上田秋義（57歳・今坊・現）石田

政雄(65歳・須沢・現) 西山和夫(33歳・豊茂・新) 坂石美明(60歳・白滝・現)

久井貞治郎（60歳・大越・現）

は、医師の診断書を、母子・遺児・寡婦年金の場合は、戸籍謄本または抄本をそれぞれ年金手帳に添えて提出することになっています。

くわしいことは、役場住民課年並係にお尋ねください。

心身に障害をもつ幼児のために
巡回就学相談

愛媛県では、国際障害者年を契機とし、心身に障害をもつ就学前幼
児の保護者の方々を対象として子
供さんの養育のことや就学のこと
などについての相談会を開きます。
この機会にぜひご相談ください。

【申し込み先】長浜町教育委員会

【相談日】九月二十四日（木）

【相談会場】大洲市中央公民館

昭和五十七年

歌会始めのお題は「橋」

昭和五十七年歌会始めのお題は「橋」と定められました。

〔詠進要領〕詠進歌は、自分の歌で一人一首とし、未発表のものに限りません。

用紙は半紙とし、毛筆で自書してください。ただし、海外から詠進する場合は、用紙は随意とし、毛筆でなくても差し支えありません。

書式は、半紙を二つ折りにし、開いて右半面にお題と歌、左半面に郵便番号、住所、氏名（ふりがな）をつき、生年月日及び職業を書いてください。

〔詠進の期間〕 昭和56年9月1日
10月12日

〔送り先〕 ㊦ 100 東京都千代田区千代田一番一 号 宮内庁」とし、封筒に「詠進歌」と書き添えてください。

表彰

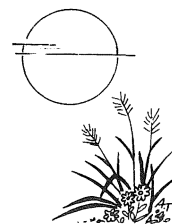
浜川重市さん
松村久信さん

人命救助で功勞

出海九三区の浜川重市さん(五)と九一区の松村久信さん(三)は、七月十日、幼児が土井川に転落し、溺死寸前にあるのを発見し、適切な措置によって尊い命を救助されたことにより、八月十二日、近田宣秋大洲地区防犯協会長と川添孝雄大洲警察署長から感謝状が贈呈されました。

歳時記

お月見



今年の中秋の名月はいつだろう
 と思って、ある天文台に電話を
 かけたところ、「ハイ、旧暦は、わが
 国では明治四十三年に廃止になり
 ましたので、わかりません」

さあ困ったと一計を案じて、電
 話帳で和菓子屋さんをみつけ何軒
 かにかけてみたら、いずれも「九
 月十二日です」と即答してくれま
 した。どうやら月見も、いまや団
 子屋さんのメーン行事の一つとな
 ったようです。

月見というのは、もともと、旧暦
 八月十五日夜の「中秋の名月」と、
 同じく九月十三日夜の「あとの名

月」をたたえる行事を指します。
 中秋―旧暦では七月、八月、
 九月の三か月が秋季で、七月を
 初秋、八月を中秋、九月を晩秋
 ということから、八月十五日夜
 の満月が「中秋の名月」といわ
 れます。

月見が広く世間で行なわれる
 ようになったのは、江戸時代か
 らとのこと、団子、クリ、カ
 キ、ススキ秋草などを飾るのが
 一般的です。

団子は、東日本では丸いのを、
 西日本、とくに京阪地方では里
 イモの形にとがらせて作るとこ
 ろが多いといわれています。団
 子の数ですが、江戸時代には普
 通は十二個、うるう年には一個
 増やして十三個というのが一般
 的だったようです。いまは、十
 五夜にちなんだ十五個というこ
 ろもあるようですが、みなさん
 のお宅ではいかがですか。

9月30日は長浜町議会

議員選挙の投票日です



怠け者の男が死んで冥途へ行くと、閻魔大王から娑婆の滞在費を請求されたという。当然な話であるが、今の娑婆の人間、果たしてみんなが皆そのような考えを持っているだろうか▲嘘をいうと閻魔様に舌を抜かれるという。これは法廷に於ける偽証罪で刑法の罪に属するが、滞在費の不払いは民事事件で民法の問題である▲禪家では一日作さざれば一日食わずと標ぼうし、共産主義者は働かざるものは食うべからずと主張する。いずれも怠け者に対する閻魔の娑婆滞在費の請求の基本原理に相通するものであろう▲ところが最近の娑婆では日本人は働き過ぎるとか、週休何日制とか閻魔の精神とは逆の議論がふえて、一日作さざれども食うべし、働かずして食うべしの考え方が広がり始めたかに見える▲どこかに歯止め、ブレーキがなくて人類全部が働かなくなったら、それこそ人類は絶滅の一本道を歩むことになる。無理な働き過ぎが必ずしもよいとはいえないが、人類総怠け者にならない歯止めの一線をどのように理論づけ、健全な勤労観を樹立するか、その所があいまいで心配である▲彼岸の中日というのは、こういう問題について最も当を得た中道の理念を深く探究する意味をもって法会を営むことが始められたものだといわれている。

寄付

○長浜小学校新築落成記念事業推進委員会会長・岡成美さん：一千万円を町へ。

お誕生おめでとう!!

7月届出分(敬称略)

住所	保護者氏名	続柄	児名
長浜	高崎 久信	二女	理恵
沖浦	吉田 直人	長女	裕子
出海	計幸	二女小百合	
沖浦	後藤 菊博	二女	朱里
長浜	濱田 一義	五男	心
下須戒	横山 敏幸	二男	裕司
沖浦	川上 哲夫	長男	将史
豊茂	増本 博之	二女	奉子
今坊	澤井 慶信	二男	元貴
長浜	明関 晃	長男健太郎	
長浜	馬場 茂	長女	渚
仁久	島田千代一	長男	悟
下須戒	井上 明	長男	琢也

おくやみ

7月届出分(敬称略)
 死亡時年齢
 住所 氏名
 沖浦 佐々木ミヨリ (八一)

商品キャンペーン



毎日の暮らしやビジネスに、電話はいまや生活の必需品となりました。電報電話局では、皆様により便利に使っていただくため、9月に商品キャンペーンを実施し、いろいろ便利な電話機を用意しております。また、電話についてのご相談に応じますので、お気軽にご利用ください。

伊予長浜電報電話局 TEL 2-0000 番

豊茂	菊地スミエ	(七三)
須沢	澤井春五郎	(七三)
下須戒	渡邊サキ子	(四〇)
長浜	清柳 淑	(五五)
長浜	浅田 高治	(七七)
須沢	高屋ムツエ	(八七)
青島	播磨 積雄	(八三)

編集後記

むし暑かった夏も過ぎ去り、野山ではススキが風にゆれ、赤トンボがとんで秋が近づきました。

今年は国際障害者年。ほんとうの苦しみは障害者でないといわれないでしょうが、少しでも彼らの苦しみを理解して、暖かい手をさしのべてあげたいものです。

最近「コミュニケーション」という言葉がよく使われます。先日のコミュニケーションセミナーにおいて、社会でも、職場においても「北風と太陽」のたとえが、小さな単位の組織においてはなごさのことだと思ひます。「思いやり」ということを大切にして、明るい社会にしていきたいと思います。

人口世帯数

楽しく住みよい町、豊かで働きがいのある町
 美しい人情と文化の町をつくり、人口をふやしましょう



	8月1日現在	前月との比較
人口	12,904人 (男 6,145人 女 6,759人)	2人減 (4人減 2人増)
世帯数	3,891世帯	4世帯減